

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 特許出願公開
⑪ 公開特許公報 (A) 平2-61263

⑫ Int.Cl. 5 識別記号 ⑬ 公開 平成2年(1990)3月1日
E 04 H 1/12 301 7606-2E

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全6頁)

⑭ 発明の名称 テレビジョン受像機付浴室装置

⑮ 特願 昭63-214012
⑯ 出願 昭63(1988)8月29日

⑰ 発明者 村瀬 孝治	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑰ 発明者 松村 伸光	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑰ 発明者 古川 恵一	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑰ 発明者 井谷 一郎	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑰ 出願人 松下電器産業株式会社	大阪府門真市大字門真1006番地	
⑰ 代理人 弁理士 粟野 重孝	大阪府門真市大字門真1006番地	
	外1名	

明細書

1、発明の名称

テレビジョン受像機付浴室装置

2、特許請求の範囲

- (1) 浴室の浴槽側コーナ壁面に凹部を設け、この凹部内にテレビジョン受像機を配設してなるテレビジョン受像機付浴室装置。
- (2) 浴槽側コーナ壁面に開口を設け、この開口内にテレビジョン受像機を嵌設配設してなるテレビジョン受像機付浴室装置。
- (3) テレビジョン受像機のコントロール部を浴室の出入口部の壁面に設けてなる請求項1あるいは請求項2記載のテレビジョン受像機付浴室装置。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明はテレビジョン受像機付浴室ユニットに関するものである。

従来の技術

従来、浴室においてテレビジョンを見られるようになるためには、第9図に示すように、浴室1

と例えば脱衣室などの浴室と隣接する部屋または空間2との間の壁3に透明板窓4を設け、浴室と隣接する部屋または空間2側において、透明板窓4に対応させたテレビジョン設置スペース5を設け、テレビジョン6のハウジングと透明板窓4とが対応するようテレビジョンを設置している。また、第10図に示すように、浴室壁面の平面部分7に開口部8を設け、透明板9などで防水されたキャビネット10の中にテレビジョン6のハウジングと透明板とが対応するようテレビジョン6を収納し、開口部8よりキャビネットを壁面に埋込み設置するものであった。

発明が解決しようとする課題

このような従来の構成では、テレビジョン設置スペース5が、浴室空間に凸出しないため浴室内を広く使えるという利点はある。しかし、別途、脱衣室などの浴室に隣接する部屋または空間2にテレビジョン設置スペース5を確保する必要がある。また、第10図に示すようにテレビジョン6を収納したキャビネット10を浴室壁面の平面部

キン材41, 42が配置してある。透明板39は、疊りを防止するため表面が吸湿性の防疊材でコートィング処理されている。配線中継板40には電源コンセント46, テレビターミナル47, 音声出力リード線51とリモコンリード線52用のコネクタ48, 49が配置してある。45は赤外線発信部であり、テレビジョンの受信部44と対応して内蔵されており、リモコン装置32に接続されている。音声出力リード線51は防湿形スピーカー31に接続されており、テレビ音声を浴室内に流すことができる。

上記の構成において、テレビジョン30を内蔵した防湿構造のテレビジョン収納キャビネット29が浴室ユニット11の壁面に設置されるとともに、テレビジョン操作用の防湿形リモコン装置32とテレビジョン音声用防湿形スピーカー31を備えており、テレビジョン30の操作はリモコン装置より行なえ直接テレビジョン30に触れる必要が無く、また音声はスピーカーより浴室内に流れ出るため、テレビジョン30を浴室内の湿気より完

全に隔離することができ、浴室内において安全にテレビ鑑賞を楽しむことができる。

また、テレビジョン収納キャビネット29は、浴室ユニット11の洗い場正面側で浴槽側に位置するコーナー57の適当な高さに、浴室ユニット内11と浴室ユニット11外の浴室ユニット設置スペースを利用して設置される形となる。浴室ユニット設置スペース12は、建築物において浴室ユニット11が設置される空間であり、その寸法は、建築物設計時にある程度任意に設定することも可能であり、平面寸法においてテレビジョンを設置することを前提に、あらかじめ浴室ユニットの寸法よりも充分に大きく設定して浴室に隣接する部屋又は空間13への影響を無くすこともできるが、そのほとんどの部分が建築物においては無駄な空間となる。従来、一般的には、浴室ユニットを設置した状態で浴室各壁面16, 17, 18, 19から浴室に隣接する部屋または空間13までの距離が100mm程度となる広さとされている。そこで、テレビジョン収納キャビネット29を、

その埋込み部分29'が浴室ユニットの壁面から浴室に隣接する部屋または空間13までの距離以内の範囲で納まる構造にすれば、上記キャビネットは浴室に隣接する部屋または空間13に凸出することなく、テレビジョンを設置するスペースを浴室ユニット設置空間12外に別途確保する必要が無く、浴室周囲の外観をそこねないとともに、浴室ユニット内において上記キャビネットが凸出する洗い場正面側で浴槽側に位置するコーナー57は、一般的に浴室内においてデットスペースにあたり、浴室内の有効スペースを狭めることなくテレビジョンを納めることができる。また、テレビジョンの画面は浴槽15に入ってゆったりと寛いだ姿勢からでも、洗い場14'において入浴作業をしながらでも無理なく見ることができる方向となるものである。

またテレビジョン30本体が浴室ユニット11内の湿気と隔離されるとともにテレビジョン30の操作部と音声出力部が浴室ユニット11内に配置されているため、浴室内で操作しながらテレビ

ジョン30を見ることができる。また、テレビジョン収納キャビネット29の設置スペースは従来の浴室ユニット設置スペース12内で納まり、浴室に隣接する部屋又は空間13に凸出しない。また、浴室内において上記キャビネット29は洗い場正面側で浴槽側のコーナー57に設置されているため浴室内の有効スペースを狭めることなく、浴槽15からも洗い場14'からも見易い位置にあり、シャワー24の水滴なども掛かりにくい。テレビジョン30は直交する壁面材16, 17と、ねじ58とにより壁面材16, 17に支持固定する構成としているので、特別に支持用金具を用意することなく、また取付け作業も簡素化するものである。また、上記キャビネット29が分割できる構造であるため化粧前パネル29-bと透明板取り付けパネル38を取り外すと浴室内よりテレビジョン30のメンテナンスをすることができる。さらにテレビジョン操作用のリモコン装置32はシャワー24とは反対側の出入口用のドア21近くに配設しているので、操作が浴槽15をのり

こえての不自然な操作ではなく手近かに操作でき、またシャワー24の水もかかりにくいものである。なお、上記実施例では、壁面材16, 17に切欠きによる開口36を設ける構成としたが、これに限定されるものでなく、第7図に示すように壁面材16に凹設部16aを設け、この凹設部16a内にテレビジョン30を組込む構成のものでも本発明の効果を奏するものであり、また浴室の形態も上記実施例に限定されるものでなく、第8図に示すように横長状の浴室のコーナ壁面にテレビジョン30を配設するものでもよいものである。

発明の効果

以上実施例の説明より明らかなように、テレビジョン受像機を浴室内の浴槽側コーナ壁面の凹部内に配設しているので、浴室空間の有効スペースを狭めることなく、テレビジョン受像機の配設ができ、浴室をより快適な空間に演出でき、また、テレビジョン受像機は浴槽からも洗い場からも見易いなど、種々の効果を奏するものである。

4、図面の簡単な説明

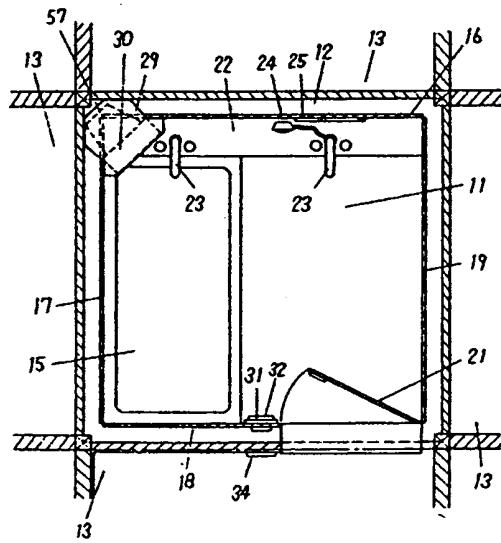
第1図は本発明の一実施例を示すテレビジョン付浴室ユニットの平面断面図、第2図は同側面断面図、第3図はテレビジョン収納キャビネット取り付け部の分解斜視図、第4図は同斜視図、第5図はテレビジョン収納キャビネットの分解斜視図、第6図はシステムのブロック図、第7図、第8図は同他実施例を示す要部平面断面図、第9図、第10図は従来例を示す平面断面図である。

14'……洗い場、15……浴槽、16, 17……壁パネル、29……テレビジョン収納キャビネット、30……テレビジョン、32……防湿形リモコン装置、36……開口部、57……コーナー。

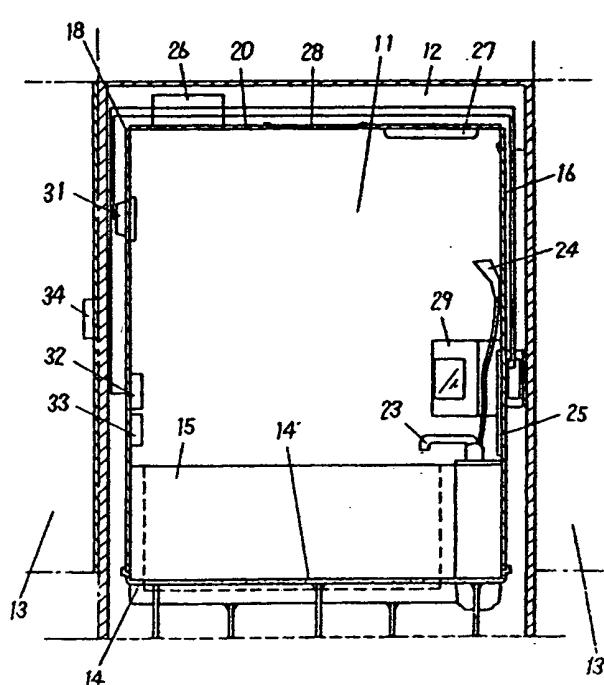
代理人の氏名 井理士 栗野重孝 括弧1名

11……浴室ユニット
12……浴室ユニット設置スペース
15……浴槽
16……壁パネル
29……テレビジョン収納キャビネット
30……テレビジョン
31……防湿形スピーカー
32……防湿形リモコン装置
57……コーナー

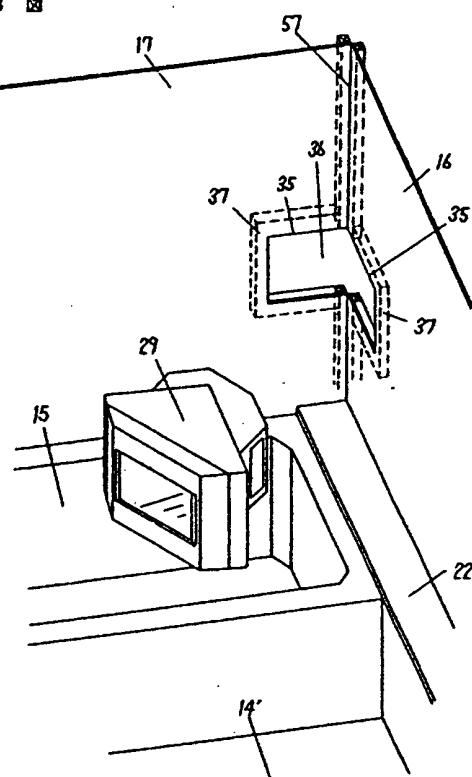
第1図



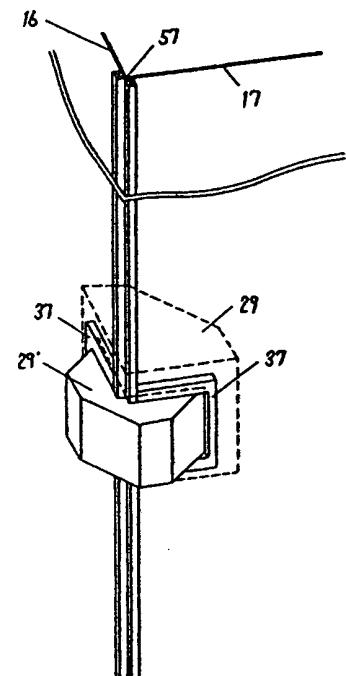
第2図



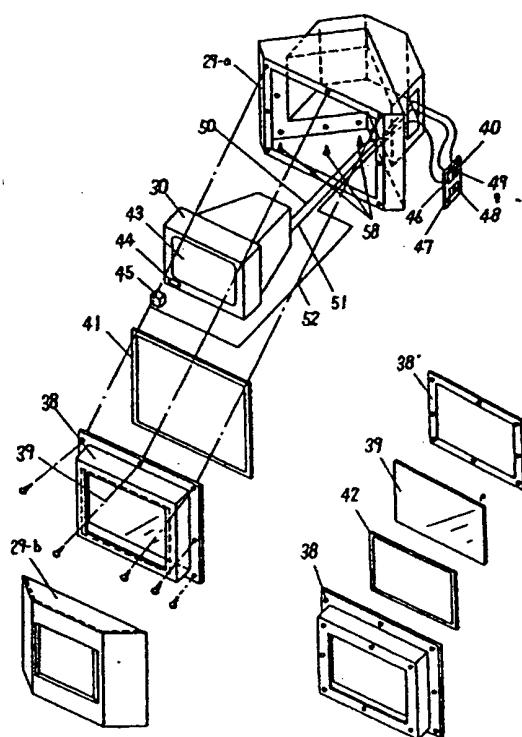
第3図
35—回りスカ
36—開口部



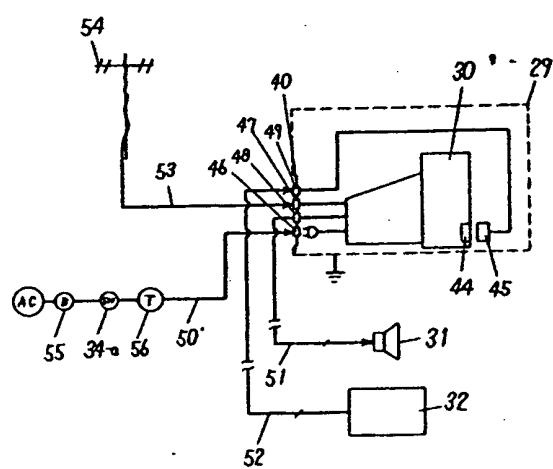
第4図
27—キャビネット底込み部分



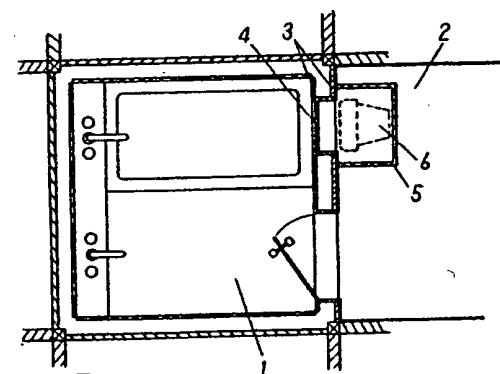
第5図
37—直噴管
43—フランジ



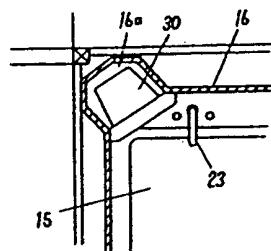
第6図



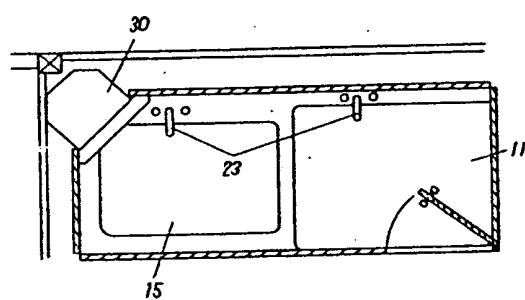
第 9 図



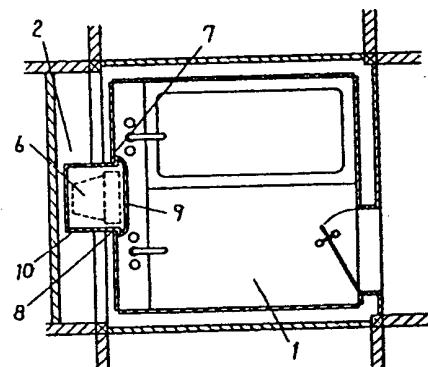
第 7 図



第 8 図



第 10 図



PAT-NO: JP402061263A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 02061263 A
TITLE: BATHROOM EQUIPPED WITH TELEVISION SET
PUBN-DATE: March 1, 1990

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
MURASE, KOJI
MATSUMURA, NOBUMITSU
FURUKAWA, KEIICHI
ITANI, ICHIRO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD	N/A

APPL-NO: JP63214012
APPL-DATE: August 29, 1988

INT-CL (IPC): E04H001/12

US-CL-CURRENT: 4/559

ABSTRACT:

PURPOSE: To enable a bath to be comfortably taken by providing the surface of a corner wall on the side of a bathtub in a bathroom, with a recessed section, and by setting a television set in the recessed section.

CONSTITUTION: With notches 35 arranged respectively on a wall panel 16 facing a counter 22 and a wall panel 17 facing a bathtub 15, an opening section 36 in which the rear end section of a contained cabinet 29 fitted is formed at a corner 57 on the side of the bathtub. Then, the rear end section of the

television set containing cabinet 29 of a moisture-proof
mechanism with a
television set fitted in is fitted into the opening section 36.

COPYRIGHT: (C)1990, JPO&Japio